

(INDEX)

<市原佐紀>

[ヨーロッパ・デンマークから見た戦争と平和](#) (2015.1)

<市原秀美> <Heidi>

[デンマークで感じたこと](#) (2014.11)

[藤崎崇明さんのこと](#) (2015.4)

[NYでの一週間](#) (2015.6)

[高島仟氏を偲ぶ](#) (2017.6)

[日本人よ、もっと大らかに！](#) (2024.8)

<Alice>

[不思議の国より（その1）](#) (2025.10)

[不思議の国より（その2）](#) (2025.12)

ヨーロッパ・デンマークから見た戦争と平和（2015.1）

市原 佐紀（デンマーク・オールボー大学 社会政治学博士）

日本では子どもによく、「知らない人に名前や住んでいる所を教えちゃだめよ。」と教えますが、私が住んでいるデンマークでそのような話は聞いたことがありません。北欧諸国はお互いの信頼度が社会全体に高く、それが福祉国家の構築や持続など多方面に良い影響を及ぼしているとする研究もあります。他人を信頼できるということは、犯罪率の低さにも繋がっています。北欧では赤ん坊が寝ている乳母車をお店の外に置いて買い物をする風景がごく普通に見られますが、これをデンマーク人の親がニューヨークでしてしまい、幼児虐待で逮捕されてしまうということもありました。日本は世界有数の低犯罪率の国ですが、他人への信頼感というと昨今危うくなっているのではないかでしょうか。



このように日常は平穏な北欧の国デンマークですが、軍隊・戦争・テロは日本よりも身近に感じられると言ってよいでしょう。徴兵制度は、冷戦後歐州諸国で廃止される傾向にありますが、デンマーク・ノルウェー・フィンランド・スイスや東欧の数力国などで今でも行われています。中でもノルウェーは2013年に徴兵制を女性にも拡大させました。デンマークの場合、18歳以上の健康な男子が対象になりますが、実際兵役に就くかどうかはくじ引きで決まります。最近では90%以上が志願者で占められていて、くじで選ばれる数は減っています。そして、軍事訓練ではなく救助訓練や開発途上国の支援事業に従事したり、良心的兵役拒否として代わりに4ヶ月から1年のボランティア活動を選択することもできます。私は、徴兵制が未だに歐州の数力国で支持されているのは、一般市民が実際に徴兵され戦わなければならない事態が、現実的に感じられていないことが大きいと考えています。徴兵制は基本的に国民の責任や慈善といった良心的なものを象徴するもので、殺戮といった負のものからは切り離されているのです。

ヨーロッパは近頃、欧州連合(EU)が東欧にも拡大して28か国になり、一つの統治システムとして考えられがちですが、各国ともお国事情は様々で、連合側と加盟国側の利害の調整が常に課題となっています。特に軍事面では、統一はまだまだ進んでいません。EU条約では、国連で認められている集団的自衛権が加盟国間で行使されると示していて、共通安全保障・防衛政策(Common Security and Defense Policy:CSDP)も打ち立てられています。このような共通政策の下、リビア内戦後の国境管理や今年2014年のウクライナ内戦におけるロシアの有力な資産家への経済制裁などが行われています。しかし、実際の軍事行動・参戦は、EUとしてではなく、全加盟国中22か国が属する北大西洋条約機構(NATO)の枠組で行われています。歴史的に戦争に対する姿勢が違う国が混在するヨーロッパでは、各国の自治権を越えた共通の政策は非常に難しいのです。オーストリアや、最近曖昧になっているもののスウェーデンは中立を謳ってきましたが、イ

ギリスはアメリカと常に行動を共にする関係にあります。ドイツやフランスは最先端の軍備を持つNATOの加盟国ですが、必ずしもアメリカと協調するわけではありません。2003年のイラク戦争の際は両国とも参戦しませんでしたし、最近のイスラム国攻撃にはドイツは参加していません。

あまり日本では取り上げられない小国のデンマークは、1949年にNATOに加盟しましたが、新冷戦期に入った80年代の社民政権下では、ソビエト圏に対するNATOの抑圧政策に国内で同意を得ることができず、加盟国でありながら、距離を置いた存在にありました。しかし、2001年から10年続いた自由党政権で7年間首相を務めたアナス・フォー・ラスムセン（2009年から2014年9月までNATOの事務総長）の下、ブッシュ政権アメリカとの協調路線が進められました。9.11後の対テロ戦争（War on Terror）では、アフガニスタン侵攻を始め、2003年には、野党の反対を与党と右翼のデンマーク国民党が僅差で押切り、イラク戦争にも当初から参戦しました。以来、反カダフィ政権への軍事協力、シリアからのイスラム国空爆など、アメリカ主導の戦争に次々と参加しています。コペンハーゲン大学の国際政治学者オーレ・ウェーバー教授は、第二次世界大戦中はナチスに無血降伏し、戦後も英雄的な行為がとれなかったデンマークでは、正しい側につき戦わなくてはならないという倫理意識が国民一般に強いと言います。80年代のNATOに非協力的な態度は、今日むしろ恥じるべき歴史としてとらえられ、以前は反戦志向だった中道・左翼政党も翻り、現在はっきり反戦を打ち出しているのは最左翼の党のみです。結果、綿密な議論もないままに全会一致に近い状態で戦争する国になっていて、この状態を教授は「北朝鮮化」だと危険視しています。

デンマークは、世界でも民主主義が最も進んでいる国のひとつといつても過言ではありません。選挙投票率も常に80%を超え、国民の政治参加意識も老若男女非常に高いものです。2005年に起こったムハンマド風刺漫画掲載問題も、デンマーク人にはごく当たり前の言論の自由とイスラム教徒の価値観、そしてその他の利害関係が織り交ざり発展したものともいえます。しかし、近頃の傾向には、国民レベルの議論もないまま他国の戦争に簡単に参加できてしまう怖さを感じます。そこには戦争が「紛争解決」や「民主化」のために必要なものとされ、自分達は「正義」の側で、タリバンのように女性を虐げる相手国の独裁者達は「悪」とする設定が根底にあります。この正・悪を白黒はっきりつけてしまうところが、今日のアメリカを中心とする西側陣営と反西側陣営との対立に見えます。世界にはこの対立構造に異なった観点を加える陣営が必要です。日本の「戦争をしない」という精神は、正・悪などはっきりつけられないからこそ、大切なものだと思います。安倍首相が掲げる憲法改正は、この精神を国際社会で必要だといった言い回しですり替えていますが、国際社会はアメリカ・ヨーロッパのみで作られているのではないということも考えなければなりません。

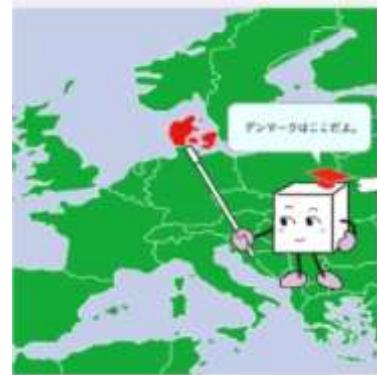
（市原さんの実家は竹の台で、この冬休暇で実家に帰っておられます。編集者）

デンマークで感じたこと（2014.11）

市原秀美（竹の台）

8月末から3週間ほど娘のいるデンマークに行ってきました。これで5回目になるので新しい感動はないと思ってましたが、孫が6歳で0学年の小学校に入ったのと、娘の大学へ行く機会があり、益々暗くなる日本の状況との違いに黙っておれなくなりました。

気温は10°～23°でカラッとした秋晴れが続いていました。日本人の家族があちらにいくとアトピーや花粉症が治ると聞いていましたが、成る程あちらでは体調が良く、帰国後は鼻がグスグス体もムズ痒く中国の影響もあるとは思われますが、山紫水明の昔の日本ではなくなっているようです。彼の国は山がなく氷河でできた地形は砂地で決して土壌が良いわけではありません。地下水を守るために農薬を使わない有機農業が発達し、食料自給率300%で他国へ輸出するぐらい。有機の食料の方が溢れ、値段は日本の1／2、野菜など1kg300円も出せば十分手に入ります。



人件費が高いので(最低賃金約2000円)観光で来る人には高いばかりが目に付き、北欧と言えば「税金が高いんでしょ?」と二言目には言われますが、収入が約2倍あり、教育費や医療費が無料であればその半分の税金を払っても十分暮らしていく、将来不安でお金を貯める必要もなく循環型社会なのです。娘の家に遊びにきた20代の若者が「この間、腎臓移植をして会社を休んでいた。」とサラリと言ったのには驚きました。手術に何千万かかっても無料で何の心配もいらないのです。「どうしてそんなにお金があるの?」とよく聞かれます。貧富の差を作らず中間層を厚くすれば日本だってもっといい社会が作れるハズです。安倍首相の所信表明のように「世界一企業が働きやすい社会を作る」のが本当に私たちの幸せにつながるのでしょうか?。

農業国で先端産業が遅れているかというとそうではなく、医療・風車・コンテナ・レゴ・デザインなど世界一を誇るのは沢山あり、コンピューターなどどの家庭も普及し、学校の連絡はすべてコンピューターで、登下校も校舎内のパネルで知らせ、登録をしていない人が迎えに来るとひと悶着あるようです。日本の教育費の支出はOECDでは最下位。あちらの小学校の各教室には冷蔵庫、IHクッキング設備、電子レンジは元より、洗濯機、食器洗い機までが備え付けられており、25人以下学級、担任+学童の先生が無数。朝の6時半～5時までは学童の先生が待機してくれています。

街には若者と赤ん坊で溢れ、活気があります。一人子どもがいると、税抜きで夫婦が20万円ずつ計40万円程度、働いても働かなくてももらえ、子どもに手厚いしあわせの国です。

帰国すると長田の事件でもちきりで、対策として地域の「見守り隊」が召集されたようですが、家族が3時半もすれば迎えにこれるような彼の国の働き方がモデルとならないのが残念でなりません。

藤崎崇明さんのこと（2015.4）

市原 秀美 （竹の台）

草の根の 活動支えしジェントルマン 平成の足長おじさん 藤崎氏逝く

これは私たち「西神ニュータウン9条の会」の会員 Mさんが、3月3日『お雛祭りの日』に藤崎さんの訃報を聞き、即興で詠んだ歌です。

この歌の通り藤崎さんは、いつも穏やかで笑みをたたえ、シルクハットではなかったけれど、グレーの帽子と背広のよく似合う美男子のジェントルマンで、そのシルエットと行動は足長おじさんそのものでした。戦争を嫌い、平和への情熱は誰よりも強く、「改憲論者」と議論する時は「口角沫を飛ばす」勢いでした。



8年前「平和であれば何でもできる」と会員の得意分野、旅行・音楽・文学などありとあらゆることを語ることから始めた「9条の会」でしたが、ソフィア大学で学ばれた藤崎さんの「ブルガリア滞在記」は秀逸で、ブルガリアヨーグルトと琴欧洲ぐらいしか知らなかつた私たちの目を開いてくれました。「いつか藤崎さんに案内してもらってブルガリアへ行く」のが私たちの夢でした。曲りなりにも私たちが活動を続けてこられたのは太っ腹の藤崎さんがいて、そのそばにはもっと太っ腹のやさしい奥様がしっかり支えてくださったからにはほかなりません

6年前、豪邸の藤崎邸の見学よろしく20名以上が押しかけ、暖かい奥様のおもてなしを受け、藤崎さん所有の「映像で語るわたしたちの日本国憲法」のDVDを見、その後全30巻を3年かけて鑑賞し終えることができました。このビデオは貸し出され他の多くの「9条の会」に引き継がれています。20年間病魔と闘いながら、お元気な時は一緒に高校前でビラまきや、各戸配布、『平和ミュージアム』や舞洲での『世界大会』バス旅行など思い出はつきません。私の家には読書家の藤崎さんから頂いた「藤崎文庫」があり、みなさん利用されています

お子様はいらっしゃらなかつたけれど「子どもたちのしあわせ」のために尽くされた「平成の足長おじさん」は3月3日のお雛祭りの日に相応しい門出をなさいました。きっと天国で子どもたちに囲まれ笑顔でご家族や私たちを見守ってくださっていると思います。ノーベル平和賞にもノミネートされた平和憲法9条を守る闘いはこれからも続きます。まだまだ教えていただきたいことが沢

山あり残念でたまりませんが、私たちは藤崎さんの熱い思いをうけついで頑張ってゆく決意をしています。藤崎さん本当に長いあいだありがとうございました。

2015年3月5日「西神ニュータウン9条の会」

(本稿は、藤崎さんの葬儀の際によませていただいた弔辞に少し書き加えたものです)

NYでの一週間 (2015.6)

市原秀美 (竹の台)

美術館とブロードウェーのショーを見に行こう」と軽く9条の会のOさんと NPT(核不拡散条約)再検討会議(4.27~5.22)・ニューヨーク行動日本原水協代表団(105人/4.25~5.1)に加わった。



一行はすごく真面目!!! 深夜にセントラルパーク近くのホリディ・インに到着し殆ど寝ていないのに毎朝9時には集まってグループでマンハッタンのアチコチで国際署名行動。初日昼から中央付近にあるユニオンスクエアで集会があるというのでそこまで南下しがてら“No Nukes!””No War!”と言いながら主にバス待ちの人々にサインをしてもらう。ずっと好天に恵まれ街路樹の梨の白い花が満開で美しい。

広場の舞台では各国からの代表がスピーチ。丁度ネパールの大地震で赤いバケツにカンパの訴えがあり、色とりどりの衣装や横断幕、宗教家の叩く鐘や太鼓の音など華やかで、国連近くまでパレードした時には1万人に膨れ上がり、TVの撮影もやってきて、沿道の人々への反核グッズやチラシまきの宣伝は中々のものであった。

国連の広場には633万余りの署名が積み上げられ、国連総長や会議の議長や189名の代表(この中で核を持つ米・英・仏・ロ・中5カ国が問題児)が口々に「これらの署名の民意に応えるべきだ」と絶賛し、今回初めて期限を切った「核兵器禁止条約」の草案が出されたと聞き、署名の威力を実感した。私も調子に乗って、終わりの頃はセントラルパーク前でスピーチデビューまでしていた。



あくる日はジョン・レノンが射殺されたダコタハウス近くの会場で女性の交流集会や国際会議があり、改装中のハウスを見学しがてら前のセントラルパークで署名行動。それらの合間に国連見学や知人との再会、メッツ(メトロポリタン美術館)の見学をした。メッツのシニア料金は平均17ドルだそうだが、「いくらでも結構です」というので10ドル払った。それでも1200円だ。円安のせいもあるが、物価の高いのには皆悲鳴をあげていた。地下鉄(メトロ)でも300円、4人で乗るとタクシーの方が安いのでよく利用した。その運転手がネパール、インド、イスラエル、中東とみな出身が違う人種のルツボ。一様に生活苦を嘆いていた。

黒人の変死で首都近くのボルティモアで暴動が起きていたが、それに呼応してNYでも夜間にユニオンスクエアーやブロードウェーでデモをし一行の中にはビデオ撮影をしてきた人もいた。真面目なデモだが、必ず跳ね上がる若者が居る。一色触発の超格差社会だ。五番街42丁目には超高級店が立ち並ぶ。「折角来たのに満席でお茶が飲めなかつたわ」(これはホント!)とトイレだけ借りて、ペニンシュラホテルのコンシェルジュに言って出た。

渡辺謙が主役を務める「王様と私」は満席でボックス席が4万円だと仲間が言った。タイムズスクエアで当日券が半額の「ドクトル・ジバゴ」を手に入れ観た。不評だそうだが、十分見応えがあった。あれだけショーがひしめく中でトニー賞に「王様と私」がノミネートされているというのは、Ken Watanabe はよく頑張っていると思う。

民間の日本人はよく頑張っているのに、日本政府はよくない。同時期に渡米していた安倍首相は現地の新聞 USA TODAY によると、上下院合同議会でスピーチし、「まず最初に先の大戦で亡くなった米軍人への日本軍の蛮行を永久に詫び、日本が攻撃されていないのに、危機下にある米軍を武器を持った日本軍が助けに来る米日新 ガイドラインを結んで好評」と書かれ、国連では被爆者がスピーチし、被爆の展示もやっているというのに、「広島・長崎」も言わず、現れず、憲法無視の”Abe, No, Thank You!”だ。

これでもかと高く高くそびえる摩天楼の中でもエンパイアステイトビルは健在だ。私たちは美しいこの建物をランドマークに歩いた。9. 11のツインタワーが崩れたようにやがてはこの虚栄の市アメリカも崩壊する日が来るだろう。その時に日本が尖兵だけにはなりたくないものだ。老骨に鞭打っての参加だったが、実りの多い一週間だった。

高島 仟氏を偲ぶ (2017.6)

ひとりの友人

市原 秀美

プレンティを歩いていたら、向こうから「やあ！」と笑顔で手を振ってトレードマークの帽子とトレンチコートを着た高島仟(しげり)さん(愛称千さん)がやって来る気がする。5月3日の憲法記念日の集会以来姿を見せなくなった千さんに胸キュンである。千さんの知り合いの何千何万の人々が「千さんロス」に胸を痛めていると想像する。ましてや「あ・うん」のおしどり夫婦の照子さんの悲しみはいかばかりかと察する。



西神ニュータウン9条の会会长の高島仟氏が2017年5月15日に逝去されました。

「千さんは若い頃モテたのよ！」と元同僚の女性から聞いたことがある。モテるのは若さだけではない。アフリカでは老人は「図書館の値打ちがある」とモテはやされるそうだが、まさに千さんは私たちにとって「生き字引」の何でもゴザレの存在だった。若い頃は演劇や音楽、文学に親しみ、同人誌におそらくは「照子さんモデル」の詩や文を発表した。関学ではテニスプレーヤーとして名を馳せた。情熱の人は闘士でもあった。私が千さんと知り合ったのは、もう30年以上前。神戸市交通労組の委員長とし出てこられていた、現在の兵庫労連の前身、統一労組懇の組合であった。ご近所で、娘と千さんの次男が同級生で親しく出入りさせてもらった。というより誰でもウエルカムの高島邸で、9条の会もお世話になったが、一日中人の出入りが絶えなかった。あの忙しい中で、本を読み、文を書き、闘いの先頭に立つなどどうしてできたのか今もって謎である。

千さんは交通局をやめられてから、ベルリンの壁崩壊直後、彼を父と慕う指揮者の抜井厚氏の居るウィーンに居を構え、半年ごとに行ったり来たりした。ウィーンでの千さんが、好きな骨董品集めに勤しむ事が出来たのも、西神でデンと構えてくれる照子さんがいたからである。1年後の夏休みに娘と訪ねたが、もうその頃には娘さんも息子さんも呼び寄せ、千さんを囲む大きな人々の輪ができていた。言葉が出来なくてもどこでも出かけ世界中に友人を作る平和の伝道師のような人であった。まだ1年というのにウィーンはもとよりヨーロッパの歴史・文化に精通しておられ、ウィーン大学の日本語学科やオペラ、美術館、ハップスブルグ家の遺構、モーツアルト、ゲーテ、解放されたばかりのチェコやハンガリー等東欧諸国への珍道中など思い出は尽きない。お酒の飲めない千さんがホイリゲで「オーストリアのワインは最高！」と言っていたが、私もあのクロイスターノイブルク修道院での赤ワインは「人生最高のワイン！」と忘れられない。

かくして12年前の「西神ニュータウン9条の会」の呼びかけ人の一人になってもらったが、まだ私たちによく知られてなかったオーストリアの様子(永世中立国であり、NATO軍の飛行機が国の上空を飛ぶことを許さない、16歳選挙権、EU諸国が多くがそうであるように、大学まで無償化で学

生は8万円程度の生活費が出ている、年休取得は続けて3週間以上取らねばならぬ、原発 NO!で「核兵器禁止条約」作成にも主導的役割果たしている。それもこれもナチス占領の反省から等など)を語ってくれた。「藤崎さんにはブルガリアを、高島さんにはクロアチアなどを案内してもらおう」と9条の会では夢見ていたのに、アベ政権に翻弄されている間にいざれも果たせなくなってしまった。

最近の千さんは年齢が84歳という高齢を意識してか、大阪・京都と東奔西走し自ら学び情報を発信し聞きしに勝るものがあった。文化はもとよりであるが、政治的にも市民が中を取り持ち野党共闘で幅広い住民の広がりがないと「戦前の過ちを繰り返す」と会うたびに「みんなもっと勉強しないと！」と口を酸っぱくして言っておられた。私たちも高島さんの無限の知識を「今のうちにしっかり受け継いでおかないと」と話し合っていたところであった。千さんの蒔いた種は千にも万にも茂り世界中に散らばっている。彼の遺志を私たち一人ひとりが受け継ぎ、「平和で文化的な世」を築きたいと誓う。合掌。

日本人よ、もっと大らかに！（2024.8）
Heidi

かねがね図書館で「ここで学習しないで下さい」と書いてあるのが不思議だった。「ここで勉強しないでどこでするねん！」と腹をたてていた。

先日検定をパスした小中の教科書展示があるというので西図書館に行った。友人が座るところが無いというのであいていたPCの横に座って閲覧していくと若い兄ちゃんが飛んできて「ここは図書を検索する場所で座ってはいけません」と怒られた。横に座っている私は PC がないので OK だと言う。去り際に彼は私が書いていた教科書のコメントをジッと覗き込んで「OK」という風にうなずいて行った。友人を待っている間「女性のひろば」のパズルをしていたら又兄ちゃんが飛んできて「パズルはいけない！本を読むのはいいが。。。」と言った。「どこかに隠しカメラもあるのかしら？！家は暑いしここで過ごすのがよいのだけれど？！パズルは頭の体操よ！遊びじゃないので！」



育鵬社、自由社、令和書籍など戦争の反省がない教科書が次々採択されるのも嫌だけど、せめて図書館内はもっと大様にできないものかしら？デンマークの図書館にはピアノがおいてあって子どもたちも寝そべって本を読んでいた。折しも 7月 6 日は高塚高校の校門圧死事件 34 回忌、校門前には色とりどりの花が手向けられていた。今でも髪の毛チェックや遅刻の取り締まりはあるのかしら？！

兎に角日本は細かいことにこだわりすぎる！

不思議の国より(その1) (2025.10)

Alice(西東京)

「東京に来て早や1か月」

皆様、沸騰する夏のお疲れは出でていませんか？

8/21 に神戸を発ち、西東京市に来て、早や 1 か月が経とうとしています。

皆様にはもうすっかり忘れ去られたかもしれません、私は旅行者が民泊でもしている気分で毎日が新しい発見です。

「東京は物価が高いしょ？」とよく言われますが、同じようなスーパーがあり、Doutor もサイゼリアも値段は同じです。

それよりも西友など朝の7時半から深夜1時まで、所によっては1日中開いており、我がアパートの前のゲオは深夜1時までお陰でリビングの電気を点けなくて明々としています。

東京はお金持ちです。

65歳以上エアコン購入時は、何台でも8万円ずつ補助があり、買い替えは西東京市が 1.5 万円補助でお陰で6万円ほどで買えました。

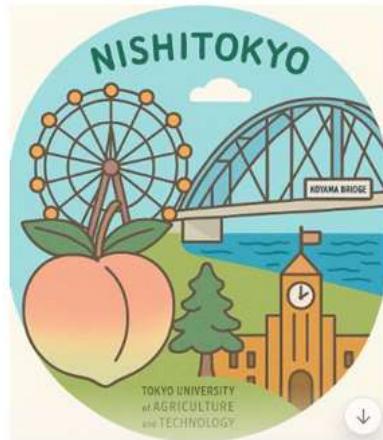
10/1 から始まる70歳以上のシルバーパスは年間12000円(収入130万以下は1000円！)で都電とバス(民間も)乗り放題！

9/20 には孫崎享元外務省国際情報局長の講演

「横田基地もいらない！沖縄と共に声をあげよう」
を聴きに行きます。

高齢者が元気！90 才以上の方々がスイスイ自転車をこいでいく様はまるで不思議の国にやってきたようです。

ごきげんよう！



不思議の国より(その2) (2025.12)

Alice(西東京)

「西東京市ってどこ？ 聞いたことがないけど？」とよく聞かれる。それもそのハズ、24年前に田無(たなし)市と保谷(ほうや)市が合併してできた市で、私の住むひばりヶ丘は田舎と都会が共存し、大変暮らしやすい町です。「自由学園がある町」と言えば、年輩の人は「ああ」と答える。

「私が一番きれいだったとき」で知られる詩人茨木のり子は晩年の48年を保谷市で暮らし、1982年「憲法擁護・非核都市宣言」草案にかかわったー
「みどり濃いまち ほっとする保谷に 私たちのくらし 木や鳥や虫たちとともに 日々のいとなみ静かなあけくれ 平和をねがう すべての国のひとびととともに 守り抜こう このなんでもない
しあわせ 新に誓う いっしょに育てる この地方自治 そっくり子供たちに手わたすことを この市民の声を 憲法擁護・非核都市保谷の宣言とする」



彼女の郷土資料室に連れて行ってくれたのも我が家すぐそばに住む90歳の超元気のいい名物叔母(ア)様だ。今日はオペラ、明日は横田基地すわりこみ、そのつぎは日本画展、戦争展、シャンソン、いま子どもと学校は？ どこに行っても知り合いはいる。彼女を見ていると、年を取るのもまんざらでもないと思う。

印象に残っているのは、187票差で岸本聰子杉並区長を当選させた世話人の小関啓子さんのお話だ。兵庫の斎藤知事と違って、トップが変わるとこんなにも変わるかと思う。常に区民の意見を聞き、粘り強く下から積み上げ素晴らしい成果をあげている。小関さんは、映画「〇月〇日区長になる女」監督ペヤンヌマキ(溝口真希子)さんと共に全国をまわっているという。是非兵庫の皆さんにも見て感じてほしいと思う。